

【図表3】 発行事例

(単位：千円)

類型	発行年月	発行法人名 (所在地)	発行総額	期間	金利
地域オープン型	2004年2月	医療法人社団明正会 (東京都)	49,000	7年	2.0%
	2004年3月	特定医療法人博愛会 (栃木県)	120,000	5年	1.5%
	2004年11月	医療法人茜会 (山口県)	49,000	5年	1.5%
	2005年3月	医療法人社団清風会 (広島県) ※	30,000	5年	1.5%
	2005年5月	特定医療法人恵済会 (徳島県)	60,000	5年	1.5%
	2005年12月	財団法人日本パプテスト連盟医療団 (京都府)	500,000	10年	1.8%
	2006年3月	特定医療法人博愛会 (栃木県)	535,000	5年	1.3%
				7年	1.5%
	2007年4月	医療法人ベガサス (大阪府) ※	62,000	5年	3.6%
総額貸付型	2005年3月	医療法人社団カレスサッポロ (北海道)	700,000	15年	非公表
	2005年8月	医療法人三光会 (福岡県)	1,000,000	5年	
	2005年9月	医療法人北九州病院 (福岡県)	300,000	5年	
	2005年10月	医療法人社団恵友会 (福岡県)	50,000	5年	
	2005年10月	医療法人恵愛会 (大分県)	50,000	7年	
	2005年12月	財団法人日本パプテスト連盟医療団 (京都府)	90,000	10年	
	2006年3月	医療法人社団仁泉会 (大分県)	50,000	5年	
	2006年7月	医療法人久康会 (宮崎県)	80,000	5年	
	2006年8月	医療法人平成会 (大分県)	70,000	5年	
	2006年9月	特別医療法人博愛会 (鹿児島県)	50,000	5年	
	2006年10月	医療法人社団唱和会 (大分県)	70,000	6年	
	2006年10月	医療法人積善会 (大分県)	50,000	3年	
	2007年1月	医療法人大成会 (福岡県)	90,000	5年	
	2007年2月	医療法人向心会 (大分県)	50,000	2年	
	2007年2月	医療法人社団富田クリニック (滋賀県)	90,000	3年	
	2007年3月	医療法人社団如水会 (佐賀県)	40,000	5年	
	2007年8月	医療法人財団友朋会 (佐賀県)	90,000	5年	
	2007年9月	社団法人宇佐市医師会 (大分県)	50,000	5年	
	2007年10月	医療法人三光会 (大分県)	50,000	6年	
2007年10月	医療法人青雲会 (鹿児島県)	400,000	7年		

※印は福利厚生策として職員向けに発行した事例

ア. 地域オープン型の発行例

菅間記念病院 (那須塩原市、280床) を運営する特定医療法人博愛会は、「地域オープン型」の医療機関債の発行を地域医療振興債の形態で2回行っている。初回は、2004年3月に電子カルテ導入等のために1億2千万円を発行した。2回目はガイドライン制定後であったので、規定に従い、公認会計士の外部監査を受けて、2006年3月に「在宅総合ケアセンター」等の建設を目的に5億3500万円を発行した。この2回の発行を通じて、結果として、現在、博愛会全体の借入総額の4割を債券発行で調達するに至っている。

地域オープン型の医療機関債は無担保・無保証なので、銀行融資のように理事長の個人保証を求められることはない。持分のない特定医療法人の理事長に、個人保証を求める銀行の姿勢に日頃から疑問を持っていた博愛会としては、新しい資金調達手段である医療機関債によって、この問題を解決しつつあるといえる。

しかし、個人保証の問題以上に、博愛会が医療機関債に期待したものは、地域住民が浄財をもって病院を支え、病院が地域によって支えられるという構図である。

2回の発行を通じて博愛会は「医療機関債は単なる資金調達手段にとどまらない。地元の患者や医師などの購入を通じて地域医療の連携に役立つ強力なツールとなる」と語